



子どもたちの姿から……

子どもたちの実態から見えてくること。それが、次年度に向けた学校の取り組むべき「課題」につながります。11月頃から、学校教育目標と子どもの実態を照らし合わせながら、保護者の皆様、子どもたち、そして教員からアンケートをとり、「学校評価アンケート」としてまとめたものを裏面に印刷しております。これらの結果からも、これからの学校づくりの方向性が見えてきます。是非ご一読いただければと思います。

その他にも、様々な視点から学校生活を振り返り、次年度に向けた構想を固めているところです。以下に、その一例を紹介します。

関わり合い

今年取り組んできた様々な活動。6年生がリーダーシップを取って、在校生を引っ張った姿がたくさん見られました。地域の方からも、通学班長が下級生の面倒を見て登校している様子について、お褒めの言葉をいただいたこともあります。

そんな中ですが、やはり関わり方だったり、相手の思いを汲むことだったり、異学年集団になったときの上級生と下級生の関わり方から、「経験不足かな」と感じる部分がありました。また、同学年間でも、「ふざけ」の延長で相手の気持ちを傷つけてしまう行為が見られることも、大きな課題です。

そんな仲間との関わりだけでなく、異学年との関わりも意図的に設けながら、上級生としての意識、人の心が分かる心の育成を図っていきたいと考えています。

学習への姿勢

学校の大部分は授業で占められています。その授業を大切にしなければなりません。子どもたちが前向きに授業に取り組んでいくための手立ても必要です。午前中に学習を集中させること、放課後の時間を利用して、担任の先生方の授業準備を充実させることも、「子どもたちが主体的に学習に向かう」ための一つの手立てです。今年度やってみた「午前5時間制」のおためし期間を通して、「学習のリズムを整える」という効果も見えてきた感じがします。また、本校で行っている「学校研究」では、年間を通して「主体的に学ぶ姿」に近づいていくためのヒントを探っています。これからも学校内、時には学校外でも研修しながら、学校全体の課題として追求していきます。

こども園との連携

本校は恵まれたことに「おひさまこども園」と道路を挟んで立地しております。幼児教育では「遊びから学びへ」をテーマとする教育活動が主体になっています。そこから小学校教育へ飛び込んでいくときに「小1ギャップ」と言われている壁があります。その壁を少しでも減らしていくために、おひさまこども園の先生方との交流を通して、小学校生活のスタートをどのように進めるか、検討しているところです。国でも「架け橋プログラム」として、強化している部分でもあります。

今年度も残り1月余りとなってきました。一日一日が充実したものになるように、学校と地域、保護者の皆さんと連携しながら進めていければと思っております。

学校運営協議会

1月27日、第3回学校運営協議会が行われました。子どもたちの授業の様子を見ていただき、その後の話し合いでご意見や感想等をいただきました。

また、会の中では「学校評価」についてご協議いただき、協議会の皆さんとともに成果と課題を共有させていただきました。



書き初めウィーク

本校では、3学期のスタート時に各学年で時間を設定しての「書き初めウィーク」という形で取り組んでおります。

12月に3年生以上が地域の鴨田先生に習字を教してもらい、休み中に練習して臨みました。

右は、初めての書き初めに取り組む1年生。



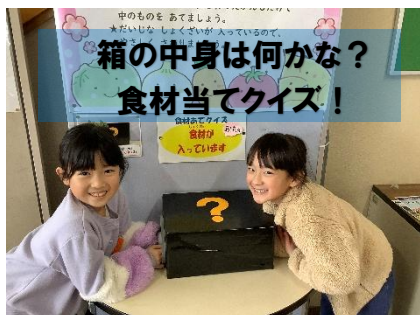
6年生は「越天楽今様」の音楽に合わせて…

給食週間 1月26日～30日

健康に成長できるようにという願いで続けている給食について考える一週間でした。様々な掲示に触れたり、調理員さんにメッセージを届けたりしながら、それぞれが「食」について考えました。

大きな調理器具にびっくりしたり、野菜の触感を手で感じたり。休み時間に楽しみながら学んでいました。

子どもたちが大好きな大きなこパンの作り方が映し出されていました



箱の中身は何か？
食材当てクイズ！



こんなに大きな調理器具を使っているんだよ！



調理員さん
おいしい給食
ありがとう！



柴橋小のホームページ よろしくお祈いします

今年度も、子どもたちの学校生活の様子を中心にお知らせしております。右のQRコードを読み取ると簡単です。ぜひご覧ください。

